



秀吉の名字は、何回変わったの

最初は「木下氏」からスタートした

豊臣秀吉が最初に名乗った名字は「木下（藤吉郎）」ですが、どうして木下氏を名乗ったのかは、いろいろな説があり、はっきりしていません。

次に名乗ったのが「羽柴（秀吉）」という名字です。この名字は、織田信長の武将の丹羽長秀と、柴田勝家のふたりの名字を一字ずつもらったものです。この時期、秀吉は大名に出世していました。

その後、本能寺の変で織田信長が殺されると、秀吉は主人織田信長を殺した明智光秀を討ち、そして秀吉に反対する勢力を追放して、権力をにぎると、一時、「平」姓を名乗ったことがあります。「平秀吉」とか「平秀吉朝臣」と称したのです。

1585（天正13）年には、秀吉は、朝廷における最高の地位である関白に就任しました。ところが、藤原氏以外の方が関白になったことがないので、秀吉は強引に「藤原」姓を手に入れ、「藤原秀吉」と名乗ったのです。

上りつめたときにつけた名字が「豊臣」

しかし、秀吉は「藤原」姓に満足せず、武士の総大将として天下に号令するには、新しい名字が必要だと考え、「豊臣」という名字をつくりだしました。そして、朝廷の許しを得て、「豊臣秀吉」と名乗ったのです。

こうして、秀吉の名字は、「木下」「羽柴」「平」「藤原」「豊臣」というように、めまぐるしく変わったのです。（監修・田代 脩）

